

情 報 公 開 文 書

研究の名称	舌色の定量的測定、インピーダンス法による体成分分析を用いた漢方薬の有効性に関する検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 和漢診療学講座 教授 貝沼茂三郎
研究の概要	【研究対象者】 2021 年 9 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに和漢診療科を受診し漢方治療前および約 1 ヶ月後に舌撮影システム装置 (TIAS[®]) の撮影および体成分分析装置 (InBody730[®]) の測定を行った患者 【研究の目的・意義】 漢方医学的診断において視診での舌の診察はとても重要です。漢方の考え方で水毒という水分バランスの偏在がさまざまな病気の原因になっているとの考え方があります。そしてそれらの舌の診察や水毒という考え方は漢方薬を選択する時にとても重要です。私達は舌診を TIAS[®]によって定量的に測定し、InBody730[®]による体成分分析により細胞内・細胞外の水分量を測定することで、水毒の所見を客観的に評価できることを報告してきました。しかしこれまで漢方薬を処方した前後で、TIAS[®], InBody730[®]の定量的変化を調べた研究はありません。そこで今回、我々は漢方処方と、漢方処方投与前後における舌所見ならびに体組成分析の変化との関係について後方視的に検討することを目的としています。 【研究の方法】 2021 年 9 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに和漢診療科を受診した患者の初診時と治療 1 ヶ月後の TIAS[®]、InBody730[®]の検査データ、および電子カルテ情報 (バイタルサインや漢方医学的所見などの診療記録) を用いて、漢方処方と治療前後での舌色の定量的測定ならびに体成分の変化との関係性について検討します。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 この研究の資金源は、講座寄付金です。この研究は、研究責任者および研究分担者 (以下、「研究担当者」という。) が自主的に実施するものであり、他の企業や組織は、この研究に関与しません。また、この研究の対象となる関連企業等と研究者との間に申告すべき利益相反関係はありません。 【研究結果の公表の方法】 最終的な成果は日本東洋医学会、日本和漢医薬学会などの国内の学会で発表します。研究成果は査読ありの英文論文で報告します。また有用な情報が得られた場合、富山大学の公式ホームページ内で紹介します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	2021 年 9 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに和漢診療科を受診した患者の初診時と治療 1 ヶ月後の TIAS [®] 、InBody730 [®] の検査データ、および電子カルテ情報 (バイタルサインや漢方医学的所見などの診療記録)。 他機関への提供はしません。

研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学学術研究部医学系 和漢診療学講座 教授 貝沼 茂三郎
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7393 FAX 076-434-0366 E-mail mukaino@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系 和漢診療学講座 助教 向野晃弘